

2021年2月1日～2022年12月31日の間に
当センター精神科に入院された患者様へ
診療報酬データの研究利用に関するお願い

当センターでは下記の臨床研究を実施しております。この研究の対象者に該当すると思われる方で、研究の詳細についてお知りになりたい方、またご自身の情報をこの研究に使ってほしくないと思われた方は、問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。患者様とご家族様のご理解・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

【研究題名】認知症患者の希死念慮について：希死念慮の有無別の疾患割合および身体的・精神的・社会的要因の特徴と希死念慮に関する言動についての質的検討

【研究の目的】

自殺とは死にたいと願う「希死念慮」から「自殺行為」を含む連続的な概念であり、世界的に高齢者の自殺率が最も高いことが知られています。高齢者の自殺は、慢性疾患、身体障害、がん、社会的孤立、精神障害や認知機能障害など様々な要因が関連しているといわれていますが、これまで認知症の方の希死念慮について、十分に検討されてきたとは言えません。

希死念慮を抱く認知症の方に資する治療とケアの方法を模索し、提供できるようになることは認知症医療にかかわる医療従事者にとって重要な課題です。本研究では、認知症のご本人がどのようなことを背景として希死念慮を抱くのか、また希死念慮の有無による認知症の疾患による特徴や身体的・精神的・社会的要因の特徴について検討します。

【研究の対象】

2021年2月1日～2022年12月31日の間に当センター精神科に入院された認知症の患者様

【利用するデータ】

対象となる患者様の診療録から、臨床所見(年齢、性別、診断名、病歴、家族構成、重症度(臨床病期)、認知機能検査結果、身体的・精神的・社会的要因、転帰・退院先に関するデータ)を利用いたします。

【研究の方法】

希死念慮を示す患者様と示さない患者様について、疾患別の割合や身体的・精神的・社会的要因の特徴について検討します。また、希死念慮のみられた患者様の言動の内容を質的にカテゴリーに分類し、その内容や特徴について検討します。

【データ利用者の範囲】

研究責任者	東京都健康長寿医療センター 精神科 主任技術員	扇澤史子
共同研究者	東京都健康長寿医療センター 精神科 部長	古田光
	東京都健康長寿医療センター 認知症支援推進センター センター長	井藤佳恵
	東京都健康長寿医療センター 精神科 主任	岡本一枝
	東京都健康長寿医療センター 精神科 主任	今村陽子

東京都健康長寿医療センター 研究所 副所長

粟田主一

【研究期間】

倫理委員会承認後～2025年3月31日

【資料の保管と他の研究への利用について】

この研究では、研究用 ID を使って患者様とご家族の情報を管理します。個人情報と 研究用 ID を結びつける情報は当院内で厳重に管理し、院外に持ち出すことはありません。

本研究の実施、および成果を国内外の学会や論文で発表する場合は、データは個人情報とは完全に分離した形で扱いますので、患者様やご家族の個人情報が漏れる心配はありません。他の研究への利用もありません。

本研究に使用させていただいた情報は、研究の最終の公表について報告された日から 10 年を経過した日まで保管いたします。紙で記録された臨床情報および、紙以外の記録メディアで記録されたデータはそれぞれ適切な方法で破棄いたします。また作成された研究対象者識別コード一覧も適切に廃棄いたします。

【お問い合わせ先】

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号
東京都健康長寿医療センター 精神科 扇澤史子
連絡先：03-3964-1141（平日 9：00～17：00）